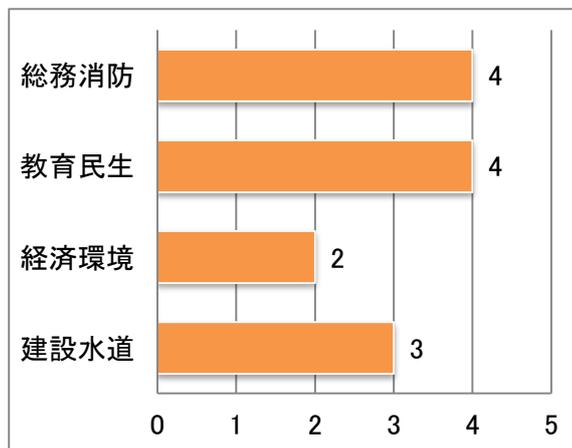


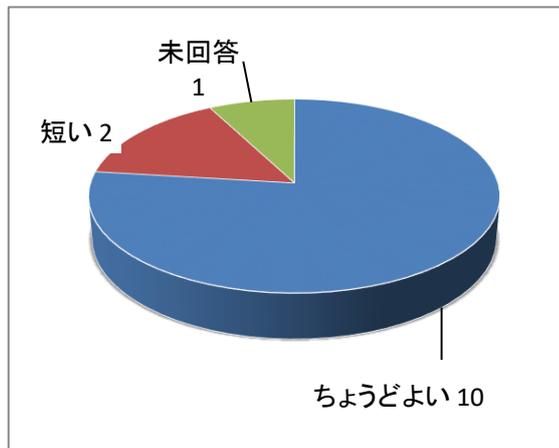
# 高松第一高校生との意見交換会 アンケート集計結果

参加人数：14人（アンケート提出人数13人）

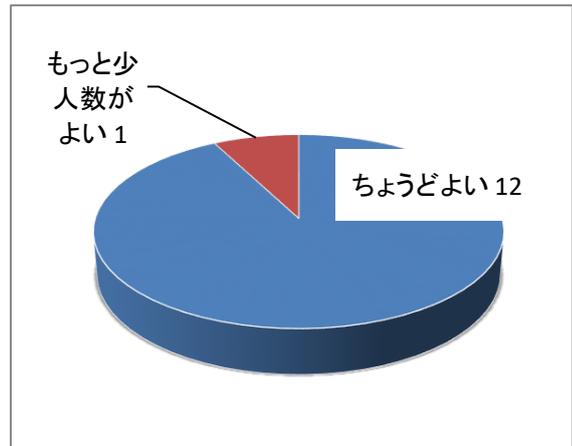
問1 参加グループ（委員会別）（人）



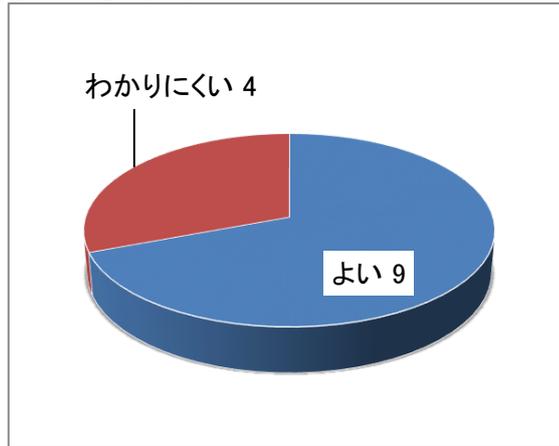
問2 意見交換の時間（人）



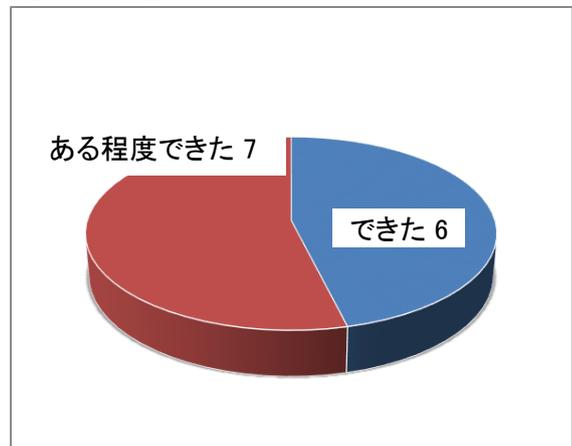
問3 参加人数（人）



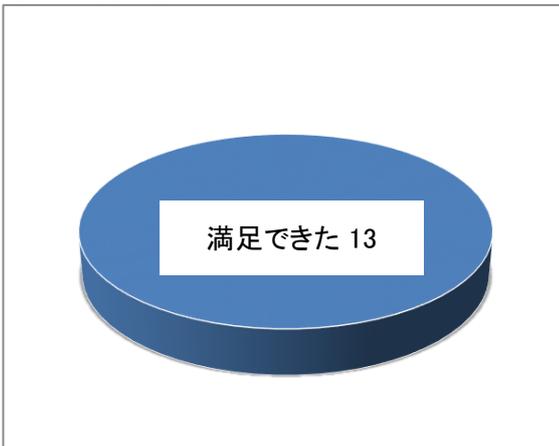
問4 意見交換会のテーマ（人）



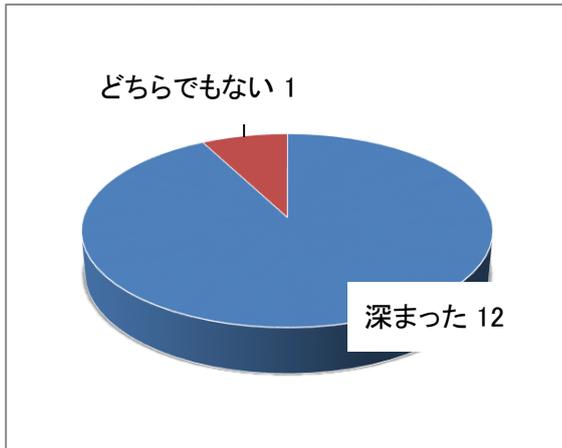
問5 発言（人）



問6 満足度（人）



問7 政治・議会に対する理解 (人)



問8 市政について、どのような関心があるか。どのようなことを議論したいか。

- ・さまざまな世代の人の意見を反映するためには、どう情報を集めたらよいか。
- ・身近なこと。
- ・議題: 高松市の公共交通機関の利便性を高める取り組みとは。
- ・市民のしたいことができる世の中に!
- ・市のイベントとの関わり→祭り、商店街など
- ・やはり、我々に最も深く関わる教育分野に関心があります。教育のことについて議論したいです。
- ・老後のことについて
- ・学校教育などは身近な話題で関心があります。その分、話し合いやすくて、議論が盛り上がるかなと思います。
- ・香川県の教育が東京などの都会と比べておけている。高松市内でも、田舎・都市部で学力の差が大きいことについて。
- ・高松まつりなどの市が主催しているイベントについて議論したい。

問9 感想・議会に対する意見等

- ・市議会の方とお話することで自分たちが考えていた案がより良いものになって高松市に関わられたのが実感できて嬉しかったです。
- ・人数も程よく、雰囲気も明るい感じだったので良かったです。2回目は特に良かったです。
- ・皆さんとても優しく、良い経験になりました。ありがとうございました。
- ・市議会の方が話の説明から、それぞれ4人に意見を振ってもらい、スムーズに進めることができました。とても心強かったです。
- ・話しやすかった。少し人数が多い気もした。囲まれるように誰かいると緊張する。
- ・アンケートに対する質問をもう少したくさんしてもらいたかった。充実した時間をすごせた。
- ・テスト近くはやめてほしい。2回話し合いは良いと思う。1回目は疑問に思うことをきいて、2回目に交換するというのはいいと思った。
- ・しっかり話し合うことができたと思います。自分の意見もしっかり発言できたので、少しでも反映されればいいなと思いました。
- ・議員の方々の様々な意見・経験をきける貴重な機会になりました。スムーズな進行をして下さりありがとうございました。
- ・自分たちの意見や質問などを聞いてくれて、それにいいいに答えてくれたことがすごく良かったです。議員さんたちの考えや経験なども聞くことができて勉強になった。議員さんたちと話せる機会はあまりないので、今回の意見交換会は自分にとって大きな経験となった。
- ・初めは、議題も難しく感じ、何を言えばよいか分かりませんでした。でも、校内でのアンケートなどをきっかけに少しずつ自分の考えをまとめられるようになり、2回目では、1回目に比べると自分の意見を言うことができたかなと思います。貴重な経験をさせていただくことができました。
- ・普段、考えることのないことについて、市議会議員の皆さんとお話したり、自分で考えたりして、理解を深めることができて、とても有意義な時間をすごせました。
- ・第1回の意見交換会を終えてアンケートをとり、結果の考察をすることで今回のテーマについての理解を深めることができた。そして浮上した問題を解決するために自分たちにできることから取り組んでいきたい。

問10 高松市が住みやすい魅力ある都市となるためには、どのようなまちづくりをしていけばよいか。

- ・市議会の方とお話する機会をもっと増やし、話す生徒や市民も増やしていく。様々な年代の人の意見を取り入れる。
- ・市議会の交流をして色々な意見を言ったのであまりありませんが、私が提案した進路の支援系は早く実践していただけると嬉しいです。私自身も大学の情報で迷惑している状態なので、すごく正しい情報・新しい情報がほしいです。よろしくお願ひ致します。
- ・多くの人に意見をきく。
- ・交通の便利さがひしひしと伝わってくるまち。
- ・市民のしたいことができる世の中に！
- ・人と人との関わりが濃い町。町の人同士の距離が近くなれば観光に来た人もあたたかい雰囲気魅了されるのではないかな。
- ・市民が主体になる必要があると思います。議員さん達と市民が関われるイベントなどを増やし、発信していけば少しずつ良くなるのかなと思います。
- ・市民の意見が反映される。
- ・今回の意見交換会のように、若い人々(高校生や大学生)の意見を取り入れるような機会を増やすことが大切だと感じた。また、新しいものを0から作り出すことよりも、今あるものを町の現状や要望にあわせて形を変えていくことも大切だと思った。実際に地域に住んでいる人にとっての良い町がどういったものなのか、自分ももっと考えてみたい。
- ・今回、市議会のみなさんとお話をさせていただいて、自主防災組織など、市と市民の間に壁や距離を感じました。また、その壁をなくすために必要なのが、地域間の関わりであることを学びました。具体的な案などは分かりませんが小さな頃から地域との関わりがあたり前にある地域をつくることができれば、中高生になっても地域との関わりが持続できるのかなと感じました。
- ・市民が主体的に、自分たちの町のことを考えて、行動できるようにしていけばいいと思います。幼いころから、自分の町をさらによくするために、どうすべきかを考え、実際に企画を実現させるという体験をしていけば、自分の町に愛着がわいて、県外の大学に出て、帰ってこないということも減るかもしれないからです。